

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

14925 Memorial Drive, Bldg A, Suite 130, Houston, Texas 77079

Tel. 281-493-1512 / Fax. 281-531-6730 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@airmail.net Home Page: www.jeihouston.org

現地校終了 帰国・一時帰国・体験入学

新学年がスタートして2ヶ月が経ちました。それぞれの学級では、友だちと仲良く楽しい補習校生活を送れ、教科学習もうまく軌道に乗って充実している様子が見えがえす。

現地校は今週末で1年が終わり、長い3ヶ月間の休みに入りました。補習校は夏休みまであと1ヶ月あります。頭や心のチャンネルを補習校1本に切り替えて学習に取り組んでください。特に、中学部は来週から中間考査があり、息を抜く暇がありません。

毎年、6月は帰国や一時帰国をする人が多くなるので、校舎内、学級内は少々寂しくなります。

さて、編入学試験や来年度の入学試験を控えている帰国生がたくさんいます。夏休みを返上して受験の準備をしなければなりません。特に、編入学試験は、若干名しか受け入れをしない学校が多く、とても厳しいものになっています。

こうした現状を踏まえ、「私に何ができるか」を考えた時、帰国生のヒューストン生活・補習校生活の努力を認め、その子の尊い努力の跡を記し、それを編入学・入学希望校校長に伝えることしかできません。

帰国にあたり、国立・私立の小学校、中学校、高等学校の編入学試験や入学試験を予定されているご家庭は、松本までお知らせください。

次に、一時帰国して、体験入学を予定されている皆さんには、補習校で一部しか学習できない日本の社会科や理科、補習校にはない実技教科はもとより、

国語科や算数科の学力、日本語力を上げて戻ってきてください。

補習校に通っているだけでは、日本語は習得できないし、ましてや教科の基礎基本も身につくはずがありません。いつ日本に戻るかわからないその日のために、児童・生徒の中には、

毎週土曜日の補習校を迎えるにあたり、



泣きながら宿題をこなしている子がいます。保護者の中には、家庭の日本語環境を整え、子どもを叱咤激励しながら一緒に学習している方もたくさんいます。通信教育で補習校の学習を補充している家庭もたくさんあります。理科の簡易実験装置を日本から送ってもらい親子で実験をしている家庭もあります。このような、土曜日一日と同等以上の家庭学習があるからこそ、子どもは日本語力が維持でき、教科の基礎基本を身につけることができます。

外国生活が長い園児・児童・生徒の中で、高い日本語力を持っている人、基礎学力がしっかりと身につけている人は、それが本人の努力もさることながら、保護者の努力の賜であり、その家庭の教育力であることを私は十分に理解しています。

体験入学のねらいは、一人ひとり違います。こうした毎日の家庭学習に加え、実際の日本の学校を体験することで、日米両文化のすばらしさがわかる人になっていくのだらうと思います。

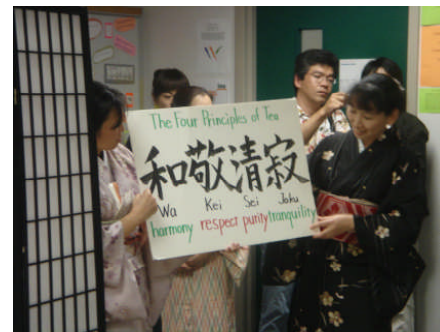
ところで、受け入れ校によっては「給食」を体験できる人がいるかもしれませんね。学習だけではなく、係活動や清掃活動にも熱心に取り組んでください。教室には40人近い人がいて、1学級の児童生徒数の多さにびっくりするかもしれません。また、教室にエアコンが無く汗びっしょりになり、蒸し暑い日本の気候に辟易する人もいることでしょう。

8月に戻ってきたときには、「あのね、校長先生、日本の学校でね、・・・・・・・・・・ことがあったよ。」と日本の学校の様子を教えてください。

茶の湯体験

5月24日は、小学部6年B組は茶室に様変わりをし、恒例の茶道教室が行われました。

ショーイング・ジャパンの皆さんにより、貴重な日本文化の体験を提供していただきました。奥原君のお母様から、茶道の歴史や心を教えていただきました。写真は、お茶の心である「和敬清寂」の説明をしています。和は平和の和、敬は尊敬の敬、



清は清めるという精神、寂は何事にも動じない心を表します。

子どもたちにとって、「一期一会」を理解するには、まだまだ年月がかかりますが、まずは、読めて意味を知っておくことが大切です。



子どもたちの和服(浴衣)姿は本当に可愛く映りました。

「お点前、ちょうだいします。」「お先に。」と言いながら、「抹茶を飲み楽しむ」という茶の湯体験ができた小学部6年生の皆さんでした。

子どもたちのために、16名のショーイング・ジャパンの皆様や保護者のお手伝いによって、学習ができましたことに深く感謝いたします。お点前、ありがとうございました。

～ お知らせ ～

1. 漢字検定について

6月7日(土)午後3時からカフェテリアで第1回漢字検定が実施されます。今日まで忙しい中、計画的に練習問題を解いてきた人が多かったことと思います。計画的に準備が出来なかった人も、今日からの頑張り次第で何とかできます。

前学年までに学習した漢字を使って、問題が出されます。教科書の表現通りには出題されませんから、補習校の漢字テストで満点をとって、漢字検定では得点に結びつかないことがあります。

6月3日(火)以降は、過去の検定問題や問題集を三水会センターに置いておきますので、目を通しておくことをお勧めします。職員に、「〇級の問題をください。」「問題集の△ページから□ページの問題と解答をコピーしてください。」と声をかけてください。低学年児童の保護者は、お子様と一緒に取り組んでください。合格して喜びを共有してください。「合格する」という成功体験が、次の級への受検意欲につながります。成功体験の積み重ねは、漢字の習得や日本語に対する意欲と自信に結びつきます。

2. 海外子女文芸作品コンクールについて

保護者の海外勤務に伴って、世界各地に滞在す

る小・中学生を対象に毎年行われる最も大きなコンクールです。作文、詩、短歌、俳句の4部門があり、毎年2万数千点の応募があると聞いています。たくさんの種類のコンクールがあるため、精選しなければなりません。今年は、特にこの「海外子女文芸作品コンクール」に出品できるよう、子どもたちに取り組みしてほしいことを教員にも伝えました。すでに、作品づくりに取り組んでいる人も多いことと思います。校内メ切は6月21日(土)です。ヒューストン生活を作文で、この地の様子や日本との比較を詩や短歌などで表現してほしいと思います。

3. 第54回青少年読書感想コンクールについて

小学校低学年から高校生までの課題図書18種類45冊が届きました。1家族2冊、貸出し期間は1週間になっています。課題図書以外の感想文も出品可能です。校内メ切は、夏休み明けになります。夏休み中に書いた感想文をどんどん出品してください。



◆パトロール当番予定表 6月 7日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1 リーダー	小5	3 2	岡部 忠朗
	2	2 0	グレイ 桜
	3	3 5	石井 健介
	4	3 7	島崎 萌南
	5	1	高橋 彩香
	6	2	花田 耀士
★PM1 リーダー	3	3	王子 源生
	2	4	小森 寛之
	3	5	吉田 崇志
	4	6	徳留 正峻
	5	7	白 旭
	6	8	栗山 愛由

<転出>

川原理菜さん(小4 A) 河野夏帆さん(小4 B)
 青木俊介君(小5 A) 川原裕也君(中1)
 青木俊樹君(中2) 河野太揮君(中2)
 川原紗弥さん(中3)

7名とお別れです。滞在期間に長短はありますが、たくさんの思い出と友人ができたことは皆さんの宝物ですね。初めて日本の学校を経験する人、編入学試験がある人など様々ですが、新しい学校で、たくさんの人と出会って、ヒューストンのこと、アメリカ合衆国のことを教えてあげてください。

皆さん、お元気で、さようなら。